アナバプテストのクリスチャンとは何か?

中心的価値２．イエスにある共同体がわたしたちの生活の中心である

・あらすじ

・「教会」というものをどう考えるか

・イエス時代はどうであったか、それ以後はどう変わったか

・宗教改革者たちは聖書をどう理解したか、アナバプテストはどう理解したか

・重要と思われる文節

１）イエスが宣教を開始された時にはじめられたことの一つが共同体づくりであった。

２）使徒２：４６～４７　　～宮にあつまり、家でパンを裂き

会衆全体のあつまりと小グループのあつまり

３）キリストを中心にした共同体こそ私達の生活の中心

４）コンスタンティヌスとアウグスティヌス

コンスタンティヌス　…　権威と組織的な教会づくりの象徴としての大聖堂

アウグスティヌス　…　会衆をキリストの体として強調するかわりに、パンとブドウ酒をキリストの体として強調した。

５）小グループの共同体の中で、キリストに属し、お互い家族になるという考え方は失われてしまった。

６）ルター　（1483～1546）

・最初は自由教会を望んでいた

・ドイツ農民戦争後（1525）コンスタンティヌス・アウグスティヌスに戻った

７）メノー・シモンズ　（1496～1561）

・宗教改革者たちに失望…回心した信仰者からなる自立した教会（自由教会）を放棄したから

・自分たちのグループの考えである、新約聖書に立ち返る

罪…たんなる罪からの解放ではなく新しく生きる生き方

赦し…神だけでなく隣人との壁をとりさる

聖餐…主の赦しだけでなく、互いの赦し

信徒…「聖徒」のように生きること（中世末期の信者は倫理的なレベルが低かった）

８）殉教者４０００人以上

・わずか３年くらいの間

・アナバプテストは社会を乱し、教会（カトリック教会）に逆らう者とみなされた

参考　　嬰児洗礼

カトリック教会…創世１７：１０　嬰児洗礼の根拠として

アナバプテスト派…マタイ２８：１９　成人洗礼の根拠として

教会

カトリック教会…マタイ１６：１８

アナバプテスト派…Ｉヨハ１：３、聖霊降臨